

施設名：新宿区立原町公園

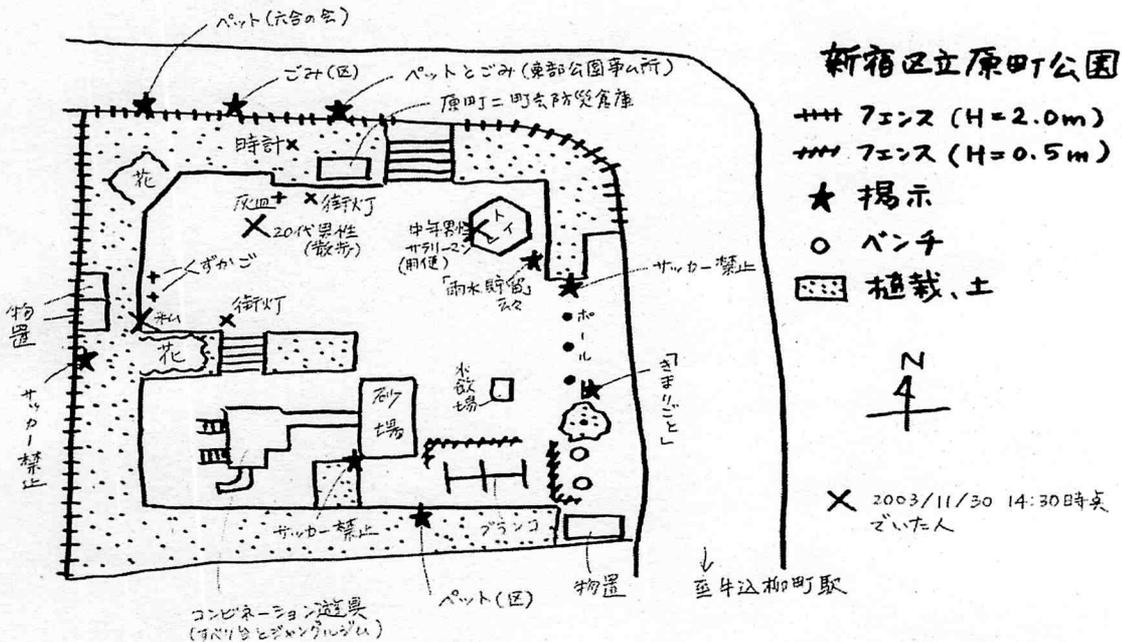
調査者：丸山真央

所在地：新宿区原町3丁目74

種別：区立公園 管理者：新宿区長 広さ：約400㎡

調査日時：11月30日(日) 14:00~15:00 気候条件：曇り

●施設の微地図



●施設の特徴

都心部の住宅地にある小公園。大江戸線牛込柳町駅から徒歩3分。周囲は、大久保通りと早稲田通りに挟まれた古くからの住宅街。細い路地が入り組み、坂が多い。

新宿区の「みんなで考える身近な広場の再生事業」¹のひとつとして、地域住民らが設立した「原町公園六合(くに)の会」²が2001年7月~2002年3月、改修案を作り、同年11月8日に新装開園した。最初に公園の現状や意見・要望を書いてパネルに貼りだし、方針を「高齢者と子供を対象とした、防災・防犯を考慮した公園」と決定。以後、5回の会合を通じて、参加者が具体的な改修案を出し合った。区土木課の説明によると、改修のポイントは³、入口部：「明るくなった」「見通しがよくなりました」、広場のエリア：「公園灯は2灯に」「くず入れは奥に設置」、遊びのエリア：「コンビネーション遊具」を新設。

●利用の特徴

調査時点での利用者は、外回りのサラリーマンらしき中年男性と、散歩中らしい近所の老人男性が、公

1 300~600㎡の中小公園を対象にした、「住民参加」の公園整備事業。従来の手法では、①概略設計、②地元と協議、③設計、④工事、⑤完成・開園式のうち、「住民参加」の余地は、②の住民説明会にしかなかった。この事業では、①の前に地域住民の要望を聞く場を設け、①では住民が中心になって話し合う(区は「技術的なアドバイス」にとどめるといふ)。④でも、基本的には業者が請け負うが、花壇の植え付けなどの軽作業は地域住民らで施工し、⑤の開園式も地元主催で行う。これまで、区立まつ川公園(高田馬場2丁目)、荒木公園(荒木町)、中井東公園(中井2丁目)で実施。

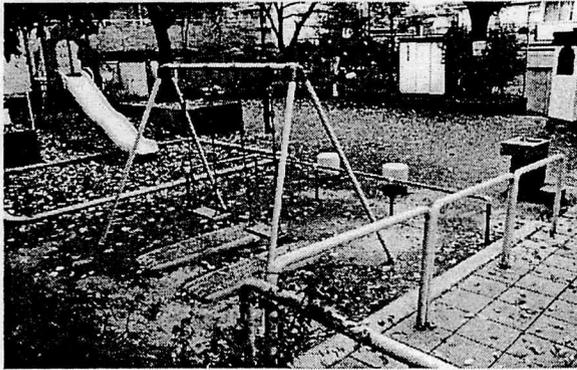
2 会の名称は、「公園に接している原町2丁目と3丁目の数字の部分を加えると「五」になります。それに区役所を「一」として、全部合わせると「六」になります。この「六」が力を合わせるといふことで「六合」となりました。群馬県の吾妻郡にある「六合」と書いて「くに」と読む地名から(区土木課ホームページ <http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/division/380800doboku/files/p06/p06h1.htm> から)

3 「」は前出ホームページから。

衆便所を使い立ち寄っただけ。初冬の冷たい雨のあとだったせいか、子どもはおらず、閑散としていた。

●管理の特徴

- ・常時開放。周囲は高さ約2mのフェンスが囲んでいる。
- ・園内での禁止事項を示す看板は7カ所。内訳は、区土木課設置の「きまりごと」（野球、キャッチボール、自転車の乗り入れ、無届けの集会、飲酒、寝泊まり、たき火の禁止など）が1、「注意 サッカー禁止します。公園からボールがとび出し危険です 東部公園管理事務所」が3。ペットに関する禁止事項は、行政と地域住民組織がそれぞれ設置しており、目立った。区土木課によるものが1、東部公園管理事務所によるものが1、「六合の会」と原町2・3丁目町会によるものが1。



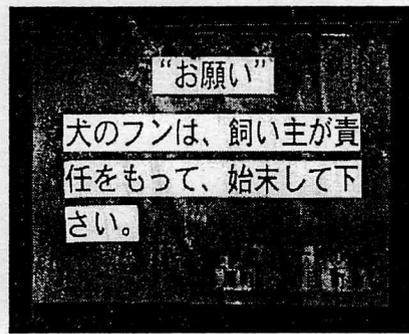
公園全景(南東から望む)



遊具の落書き。卑猥な画や「〇〇参上!」、相合傘など



ペットの禁止事項(区による)



ペットの禁止事項(「六合の会」と町会による)



近くの人が作っているとみられる花壇

●その他

新宿区は、前区長時代の1990年代後半以降、「財政非常事態宣言」(1995年)、「開かれた区政推進計画」(1996年)、「区政改革プラン」(1999年)などを通じて、職員定数削減を中心とした行政スリム化路線を進めてきた。2002年9月、都庁官僚から転身した現区長が就いてから、この路線はさらに拡張され、「区の主な役割を、これまでの直接的なサービスの提供を中心とするものから、総合的なコーディネート機能を重視したものへ」の「転換」(『区後期基本計画』2003年2月)が前面に押し出されるようになった⁴。これと軌を一にして、各種施策で「協働」の語が多用されるようになった⁵。原町公園の改修工事を含む「みんなで考える身近な広場の再生事業」は、この流れに位置づけることができるだろう。

⁴ 安達智則・伊藤一雄編『新宿区の財政分析2002』2003年、新宿区職員労働組合：pp.12-13。

⁵ 「環境や福祉等の分野に見られますように、行政の力だけでは解決が難しい領域が広がっており、様々なボランティア・NPO等団体との協働による問題解決や、公共サービスが行われるようになりました。(略)区民はじめボランティア・NPO団体や、企業等も含む多様な資源の活用を重視し、協働と連帯による区民サービスの向上を図ってまいります。そのために、積極的な情報の提供や働きかけを通して、具体的な協働のしくみづくりに努めてまいります」(現区長の所信表明演説、2002年度第4回定例区議会。下線は引用者)。さらに、区は今年度、「協働」のしくみ・支援のあり方の総合的な指針になる「区・地域との協働推進計画」を策定している。